



ロータリーの
マジック

高知東ロータリークラブ 週報

第2595号
11月20日.2024

本日 11月20日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ
「長期交換派遣学生帰国報告・長期交換受入れ学生来日挨拶」
長期交換留学生 岡田 そらさん
長期交換留学生 ケネディ イシャウッドさん

次週 11月27日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ
「道路標識のお話」
（㈱道路交安 取締役 岡 進也氏

第2641回 例会報告／令和6年11月6日 天候 晴 ガバナー公式訪問例会

◇ロータリーソング

「君が代」
「歓迎の歌」

◇来訪ロータリアン及びお客様

第2670地区ガバナー
夏見 良宏氏（丸亀RC）
ガバナー補佐
加藤 敏仁氏（高知南RC）
地区副代表幹事
陶國 栄婦氏（丸亀RC）

◇会長挨拶

皆さん、こんにちは。今日は夏見ガバナーが来訪されています。後ほどアドレスをよろしくお願いします。

今年度のR I会長はステファニー・アーチック氏で、テーマは「ロータリーのマジック」です。R I会長は、最高役員、第一代表者で、国際大会とR I理事会の会合を主催し、事務総長の仕事を見守り、助言、その職責に属するその他の任務を行う、とされています。R I理事経験者の中から会長指名委員会で指名されることになっており、任期は1年。

初代会長はポール・ハリスで、1910-1911年度に就任、2期続いて会長を務めています。その後、歴代会長からは「ロータリーの通解」の著者で、関東大震災の際に多大な物資を日本に送ってくれたガイ・ガインディカーや四つのテストの創案者のハーバート・テラー、「ロータリーモザイク」の著書、ハロルド・トーマスなど、多くの有名人を出しています。

今まで日本人でR I会長を務めた方は3人。

1人目は1968-1969年度の東ヶ崎潔氏。彼は明治28年にアメリカのサンフランシスコで生まれ、昭和8年に東京に帰り、ジャパントイムズ誌に勤務。その後、社長となり、東京RCの会長、地区ガバナーを務め、1967年にR I会長に指名されました。テーマは「参加し敢行しよう」です。

2人目は大分県中津RCの向笠廣次氏。彼は、1911年11月久留米市の医者の子に生まれ、九州帝国大学で精神医学を学び、電気ショック療法のパイオニアと知られた精神科医。中津RC会長、地区ガバナー、1978年にはR Iの理事を務めた後、1983年にR I会長。テーマは「ロータリーを通じて世界理解と平和を」です。

3人目が田中作次氏。1939年、新潟の貧しい農家の8人兄弟の4番目として生まれ、艱難辛苦の末、株式会社田中紙店を設立。八潮RCのチャーターメンバー、地区ガバナーとなり、2012年度にR I会長を務めます。テーマは「奉仕を通じて平和を」です。

2670地区からはりっぱなガバナーが多く輩出されていますが、まだR Iの理事になった方はいません、夏見ガバナーには、ぜひR Iの理事、会長となつていただきたいと思います。

◇夏見良宏ガバナーとバナーの交換を行いました。

◇11月の会員祝日（敬称略）

・会員誕生日

有田 憲一 別役 重具 寺尾 正生
中越 貴宣

・配偶者誕生日

関 紀久子 山下 佐記 松野 壽子

・家庭記念日

福岡満喜子 武吉 佳月 広瀬 雅彦
岡本 淳一 松野 宏司

・入会記念日

野町 和也 中越 貴宣 松崎 郷輔
西森 大 中野 昇 中西 克行

◇幹事報告

- ・例会終了後、記念撮影、その後、理事会を行います。
- ・日経新聞広告掲載のお礼をホワイトボードに掲示しています。
- ・11月ロータリーレートが1ドル153円です。

◇ガバナーアドレス

第2670地区ガバナー 夏見 良宏氏（丸亀RC）

本年度ガバナーを拝命しています丸亀RCの夏見良宏と申します。今日は皆さまに「歓迎の歌」まで聞かせていただき、ありがとうございました。

7月から公式訪問を始めましたが、徳島、愛媛、香川が終わり高知は今日が初めて、59クラブ目です。大分、先が見えて、少し肩の荷が軽くなってきました。

先ほどの会長幹事会でもお話ししましたが、皆さんは、他クラブも大体同じようなことをしているだろうと思っているかもしれませんが、59クラブ全部違います。県によっても違いますし、地域、クラブの歴史、会員の数、それぞれです。

RIがよく「ロータリーは変わった」と言います。2016年の規定審議会で変わり、そして、2019年に大きく変わったと言われますが、変わったのは社会です。今や地球規模の気候変動や環境破壊、国際的な資源、エネルギー問題、戦争、富の偏在化、社会の高齢化に伴う労働問題や社会保障など、解決すべき諸問題と直面している。そういう社会において、人類共存という理念そのものが揺らいできている。自分の国だけが平和で豊かで幸せでいいのだろうか、自分だけが幸せでいいのだろうかというところが問い直されている。これがロータリーは変わったというところの原点にあるわけです。

ロータリーは、1905年2月23日に創立されて119歳になりますが、100年経った後、RIは世界の100万人にアンケートや対面で聞き取り調査をします。そして、これから世界のロータリーはどうあるべきかということでも

とめたのが、2017年に出された「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」というビジョン声明で、これに沿って活動を開始しました。

財団は7つの重点項目に沿って世界中でいろいろな行動をしていますが、行動するにはお金もかかる、人も要るということで、今はロータリーと財団はコインの裏表の関係になっています。

本年度のRIの会長、ステファニー・アーチェックさんは「マジックオブロータリー」というテーマを掲げる中で、ポリオ根絶が最先端事項であり、認識向上と資金調達が重要である。2番はロータリーの行動計画の推進者となってほしい。3番は過去50年のやり方を見直すときがきている。その中で、クラブの衰退、会員の減少、地域社会のニーズに合ったクラブの結成や増強をお願いしますと述べています。

RI、財団ともに一番の課題は、ポリオ根絶です。1985年からRIはポリオ根絶に取り組んでいます。当時、世界に35万人、125カ国にいた小児マヒの患者さんが、今は一時期6名まで減って、今年は六十数名。これは増えているというよりも、奥地、奥地へと進んでいますので、パキスタン、アフガニスタン、あと2カ国ですけど、進めば進むほど把握できない地域があり、なかなか終わらないのが現状です。

ロータリーはこれまで26億ドルのお金をポリオに使ってきました。そしてさらに毎年1

億5,000万ドル集めてポリオ根絶事業を行っています。1億5,000万ドルのうち、ロータリーが5,000万ドル集めたら、倍の1億ドルを出しますというのがビル&メリンダゲイツ財団との約束です。ですから、毎年皆さんに寄付をお願いして何とか5,000万ドルを集めています。

去年の日経に「ゼロにしなきゃ終わらない」という、尾美茂さんの記事が載っています。尾美さんはロータリーの名誉会員です。1979年当時、尾美さんはWHOのアジアのポリオ担当で、何とか早く終わらせたいのでワクチンを使うためのお金を試算すると、当時のお金で30億円。しかし、WHOにはとてもそんなお金はない。地域も国も出さないということだったけれども、日本のロータリーが初めて1億円出した。それが呼び水となって、他の団体や国からも寄付があり30億円集まって、いち早くアジア地区からポリオが根絶できたという歴史があります。尾美さんは今でもロータリーさんには感謝しているとおっしゃっています。現在でも、10月24日を世界ポリオデーとして、世界中でいろんな活動をしています。

尾美さんの言うゼロにしなければいけない理由は3つ。1つは、もしやめてしまうと、また10年で患者が20万人に増えてしまう。もしロータリーが手を引いたら、ビル&メリンダゲイツ財団が最後までやりきって、俺達がポリオを根絶したと世界に言いますよ。もし、ロータリーが中心になってポリオが根絶できて、ゼロが3年間続くとWHOがゼロ宣言をします。するとロータリーはノーベル賞の対象になりますよ。

つまり、これが今RIがやろうとしている行動計画の一つなんです。行動計画を立てるにあたって、大きく真ん中にこういう事業をやりますと、世界112万人のメンバーに言って、参加者の基盤を広げる。ボランティア団体、ロータリーファミリー、みんなが協力してください。そして、エンドポリオが達成した日には、大きなインパクトとして、皆さんが付けているバッチのイメージが上がりますよと。

ですから、地域や各クラブでもこういうイメージで行動してください。ただ、これは1

年や2年で簡単にいく話ではないので、3年計画、5年計画という中期的な計画などでお願いしますというのがストーリーです。

私はこちらで59クラブ目の訪問になります。現在、2670地区には73クラブあります。東の端の阿南から西は宇和島、そして高知。特に僻部に行くと必ず言われるのが人口減少、高齢化、会員減少の問題です。これは日本全体の問題ですが、例えば高知ですと、今の68万人ぐらいの人口が25年後には45万人まで減って、平均年齢も68.5歳まで上がってしまうというデータが出ています。

こういう流れにロータリーを当てはめると、やはり同じく減少していこうと思います。コロナの始まった2019年までは、この地区のメンバーはほぼ3,000人。そこから減少しはじめ、今は2,760人ぐらい、ここ6年間で279人、減少率9%。日本全体でみると、1995、1996年がピークで、日本中で大体13万人、今は8万2,000人。世界も120万人から今は110万人。先進国ほど減少率が激しいとも言えますが、特徴的なのはクラブの数はあまり減っていない。ということは、1クラブの会員数が減っている。

1995、1996年頃は、1クラブ平均六十数名、今は三十数名。委員会は19委員会、会員数が減少したクラブで、1人の会員がいくつもの委員会を掛け持ちしなければいけない。そんなのやってられないので、辞めるという悪循環が生じます。

2670地区で、29名以下のクラブは30クラブ、そのうちの10クラブは19名以下。ちなみに高知は、安芸20名、中芸11名、香長11名、仁淀14名、宿毛29名、須崎16名。30名を切ると運営が厳しい。そこで、RIは2016年の柔軟性の導入などいろんな手を打ってきています。大きなクラブからは、RIがいろいろ変えてくることに対して、どういうことだという質問も出る。しかし、小さいクラブは少し自由度を与えてくれた方が助かる。今はいろんなクラブがありますので、一概にこれがいいということは言えません。そのクラブそのクラブに任せる、柔軟性という言葉になるだろうと思います。

そういう流れの中で、私たちは今、何をしなければいけないか。いろんなことが起きる

けれども、プライオリティを考えると、やはり次の世代が平和で活気ある社会になってほしいと思うのは、全ての人たちの願いだろうと思います。そこで、私は今年度のテーマを「青少年に夢」としました。しかしどうでしょう。今青少年は夢を持って生きているだろうか考えたとき、とにかく社会は著しく便利になっていることだけは間違いない。人工知能、AI、ロボット、自動運転等々。読み書きそろばんは携帯があれば十分。辞書は要らない。文章も作ってくれる。音楽も作ってくれて絵も描いてくれる。こんな時代は本当に幸せだろうかということ、もう1回皆さんで考えないといけない。

2024年、GDPは日本は世界4位、幸福度ランキングでは51位。2023年の48位からランクダウン。30歳以下に限っていえば73位。さらに、他の国と一番違うのは、他人への寛容さ。これは世界で92位、ほぼ最下位です。つまり、若ければ若いほど社会が窮屈で、自分は幸せだと思っていない。SNSの世界で誹謗や中傷、友達関係の中で生き辛いと多くの人が感じている。

75年にわたるハーバード大学の心理学の研究からはっきり分かったことは、私たちが幸福で健康にするのは富でも名声でも、無我夢中に働くことでもなく、良い人間関係に尽きるというものです。大切なのは、人間関係の質であり数ではない。自分と意見や立場が異なる人たちに、どれだけ理解を示すことができるかという寛容さが大切だと述べています。

日本国内の幸福度ランキングもあります。香川県18位から9位。高知県10位から11位。徳島県47位の最下位から14位。愛媛県14位から27位。特徴的なのは高知県で、ほぼ同じで10位ぐらい。個人的に大変興味があります。なぜ高知県は幸福度ランキングがいつも上位なのでしょう。いろいろ理由はあるでしょう。皆さんは感じてないかもしれないけど、何かの良さが多分あるんだろうと、人の寛容さが大きいのではないかと思います。

寛容の心は、昔からポールハリスが言っています。友情はロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神はロータリーを結びつけるものである。しかし、逆に寛容の精神を失えば、例えばクラブにおいても失

えば、クラブは木っ端微塵に吹っ飛ぶであろう。つまり、寛容の精神がなくなったからこそ、若者が幸せだと感じなくなっている裏返しでもあるわけです。

そういう中で、今私が思うのは、日本は19世紀のオランダ、スペイン、ポルトガルなどの国々の20世紀版と考えます。オランダ、スペイン、ポルトガルもどこも一時期世界一を目指しました。オランダは既に1,800万人を切る人口ですが、世界で6番目に幸せだと思っている。この違いは一体何なのかを考えるべきだと思います。日本は、もはや世界をリードすることはないでしょう。GDPも5位まで後退します。しかし、先進国と言われるアメリカ、ロシア、中国も進歩しているというより先祖返りしているように思われます。今回の大統領選を見るとまさにそうです。自国ファースト、本当に昔の時代に帰って食うか食われるかの時代に逆戻りです。

そんな時代において、我が国は彼らと対等に戦うのではなく、清品な国。清く貧しいのではなく、品格の品を用いたような国であるべきだと思います。これは、日本の敗北を認めるのではなく、新しいバランスの中で生きていく。そして、協調型の国づくりというふうに、みんなが考えていかなければいけないんじゃないかと思っています。

人類は発展しすぎました。20世紀に発達し遅れたオランダ、スペイン、ポルトガルは日本ほど発展はしていませんが、決して不幸に向かっているわけではない。新しい道を探するときではないでしょうか。ロータリー精神、つまり、お互いの思いやりの心を持って助け合うこと、寛容の心、日本人の心を大切にしたい。そんな中で、未来を考えたときには、未来には希望もあるが絶望もある。どんな時代が来るか誰も分からない。「青少年に夢を」と言っていますが、夢がある時代がくるかどうか、誰も分からない。カオスの中にあることは間違いない。

「チョウが羽ばたくほどの小さな攪乱でも、遠くの大きな気候変化に影響を与える」という、気象学者のエドワード・ローレンツの言葉があります。つまり、何かをやることによって、社会には大きな影響が起こることはよくある話で、人口減少、過疎化といったこと

を全てに捉えてしまうと、そこには何も起らない。どんな苦しい未来が目の前に広がっていても、わずかな行動が未来を劇的に変えるかもしれない。何かをやれば何かが起こるだろうと全員が思えば、きっと何かが起こる。それがロータリーです。

あれもこれもできないけど、ここをやればうまくいくということを探す知恵はロータリアンにはあると思っています。何のプロジェクトをするか、そのプロジェクトは結果として、もしかしたら、将来の社会にとっても有益

なこととして広がるかもしれない。こういう流れの中で事業を考え、行動計画を立てていただきたい。

きっといっぱいあるはずです。それをうまく突き詰めていって次につなげていくと、また新しい展開があると私は信じます。私たちが植えた木によって、後の世の若い人たちが涼を楽しめる世界になっていることを願って、これをアドレスに代えさせていただきます。ご清聴いただきありがとうございます。



ガバナー・会長・幹事懇談会



ニッニッ産

- 夏見良裕ガバナー よろしくお願いたします。
- 加藤敏仁ガバナー補佐 本日はありがとうございます。来年2月1日(土)、IM、安芸ロータリーホストクラブ、よろしくお願いたします。

- 中越貴宣 夏見ガバナー、加藤ガバナー補佐、陶國地区副代表幹事、本日はご来訪いただき、誠にありがとうございます。誕生日と入会記念のお祝いありがとうございます。
- 西森良文 夏見ガバナー、今日はありがとうございます。
- 前川美智子 夏見ガバナー、本日はようこそ公式訪問にお越しくださりありがとうございます。今年のロータリー情報委員会は輝(ひ

か) っています。昨日は大変貴重で大切な学びをありがとうございました。

・中平真理子 夏見ガバナー、加藤ガバナー 補佐、陶國地区副代表幹事、ご来訪ありがとうございました。また、昨夜は情報委員会主催の研修会に多くのご参加をいただきありがとうございました。

・藤田健治 昨日ロータリー勉強会欠席しました。ごめんなさい。

・有田憲一 誕生日祝いありがとうございました。

・松野宏司 妻の誕生祝い、結婚祝いをいただきました。ありがとうございました。

・関 淑公 家内の誕生日記念ありがとうございました。先ほど、幹事さんから言われ知りました。

・広瀬雅彦 入会記念品ありがとうございました。また、先日夜間例会では、娘の全国大会奉加帳ご協力ありがとうございました。11月17日大阪に行ってきます。20日の例会でご報

告します。

・西森 大 入会記念をいただきました。6年目になります。ありがとうございます。

・福岡満喜子 家庭記念日お祝いありがとうございました。5年振りに娘がイギリスから帰国しますので、お箸を用意しなければ思っていたところです。

・岡本淳一 記念日の祝いありがとうございます。結婚25年くらいになります。帰って銀婚式の年か調べてみます。気づいて良かったです。

・野町和也 入会記念お祝いありがとうございます。

・中西克行 入会記念日お祝いありがとうございます。2013年11月27日でしたので11年たちます。12年目に入ります。今後ともよろしくお願いします。

・ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもありがとうございます。

■高知東RC当面の日程

11月27日(水) 役員会

12月4日(水) 五大奉仕中間発表・年次総会
定例理事会

12月18日(水) 忘年夜間例会

(ザ クラウンパレス)

役員会(例会前)

12月25日(水) 休会(年末年始の休み)

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ (チビニコ含む)
先週まで	373,775円
11月6日	53,570円
今期の累計	427,345円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	メイクアップ	HC出席率	出席率
11月6日	⁻⁶ 54	38	6	4	70.37%	87.50%
10月23日	⁻⁶ 54	40	0	8	74.07%	100%

- 会長／佐野博三 ●幹事／中越貴宣 ●雑誌会報委員／西山正純・増田伝郎・有田憲一
- 例会日／毎週水曜日12:30PM～1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局／hccrc@coffee.ocn.ne.jp 広報 I T 委員会／info@kochi-east-rc.com